

令和5年度 天草支援学校

人権教育の取組

天草支援学校 人権教育推進委員会

小学部の取組①



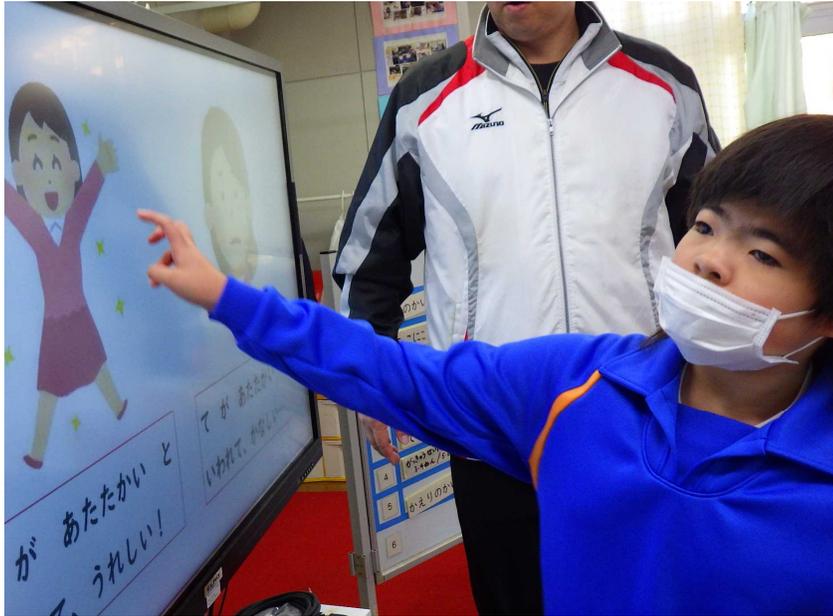
道徳(はーとグループ)では、友達と仲良く遊ぶための言葉「貸して」「いいよ」について学習しました。普段使っている絵本や玩具を使ってやりとりをしながら、言葉や手話、サイン等、気持ちを伝える自分なりの方法を見つけ、実践することができました。友達に玩具を貸してもらおうと嬉しそうに「ありがとう」と伝えることができた児童もいて、友達と仲良く遊ぶ楽しさを感じていたようです。日常生活の中でも友達と仲良く、気持ちよく遊ぶことができるよう、取組を継続していきたいです。

小学部の取組②



道徳(りんどうグループ)では、「うかんだうかんだ」というお話をもとに、自分のことを振り返り、目標に向かって努力することについて考えました。水泳の学習について振り返る中で、水を怖がっていた児童も「(水泳の学習を)がんばる」と答え、苦手なことでも努力することや、目標に向かって一生懸命取り組む大切さを感じ、これからの自分の行動について気持ちを新たにすることができました。

小学部の取組③



道徳(にこにこグループ)では、一人一人の良いところを紹介し、自分や友達の良いところを考える学習を行いました。学校生活の様々な場面の写真を通して頑張っている姿が紹介されると、みんな笑顔になり、あたたかい雰囲気での学習が進みました。友達に拍手をしたり、名前を呼んだりして、互いのことを認め合う姿も見られ、友達の良さを再確認しました。授業の振り返り等、頑張りを認め合う時間を大切にしていきたいと思います。

中学部の取組①

じぶん ほか ひと たいせつ つぎ がんば
わたしは、自分や他の人を大切にするために 次のことを頑張ります。

みんなががんばっている
時は応援をする。



じぶん ほか ひと たいせつ つぎ がんば
わたしは、自分や他の人を大切にするために 次のことを頑張ります。

悲しい時や困ってる時は
先生たちや友達や家族
に本音を話す。



「天草支援学校いじめ0宣言」をもとに、日々の自分たちの行動を振り返りました。一人一人が自分のことを見つめ直し、これからも続けたいことや頑張りたいことを考えて発表できました。

活動を通して、全ての人が必要な存在であり、「人権」があることを学びました。そこから一人一人にできる自分や他の人の人権を大切にしたい行動を考え、「じぶん宣言」として一年間取り組みました。

中学部の取組②



人権週間に合わせて、学級の友達のいいところを見つけて、紙に書いて伝え合いました。活動内容を伝えると、日々の授業や休み時間の中で、友達の優しい所や頑張っている所を探していました。掲示された自分や友達の良いところを、とても嬉しそうに読む姿が見られ、改めて友達の良さや大切さに気付くことができました。

中学部の取組③

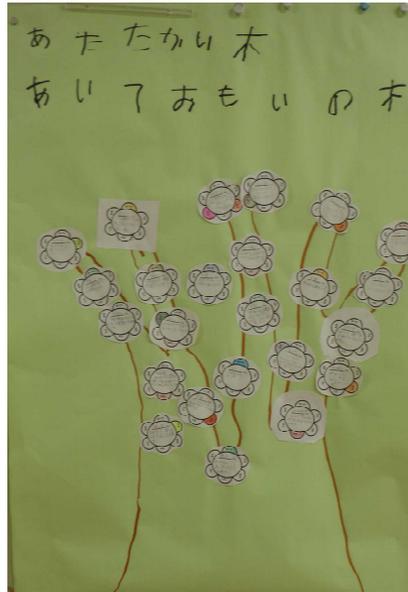


○人権子ども集会をみた感想や、じぶん宣言をふり返って、できていたことや、これから頑張りたいことを書きましょう。

分かってくれる人分かってくれない人もいるけど
考えて行動して伝えるということが大切
だと分かりました。

熊本県人権子ども集会（オンデマンド）を視聴して、他校の取組を知りました。熊本聾学校の発表を見て、自分のことを伝えようとする大切さに気付く姿が見られました。また、熊本聾学校に通う生徒が手話する姿を見て、手話に興味をもち、「ありがとう」や「こんにちは」など日常生活でよく使う手話を練習する生徒もいました。これからも、自分だけでなく、他校の友達の取組や思いを知って、認め合う気持ちを大切にしていきたいと思います。

高等部の取組①



1年生では、自己理解、他者理解について考えました。自己理解では、自分の長所や得意なこと、短所や苦手なことを知り、他者理解では、友達の良い言動や行動を見つけ、毎日「今日のきらりさん」として発表しました。

「今日のきらりさん」の活動を続ける中で、友達の良いところに目を向ける習慣が身に付き、互いを認め合う意識が高まりました。この1年間は、身近な人との関わりに重点を置いて学習しました。これからはより幅広い人間関係の中でのコミュニケーション力や対応力に取り組んでいきます。

高等部の取組②



2年生の人権学習では、就職差別と、水俣病をめぐる人権問題について考えました。2つの学習を通して、差別や偏見について自分のこととして考えることができました。これからも様々な人権問題について、自分たちにできることは何か考えることができるよう、身近な問題から学んでいきたいと思えます。

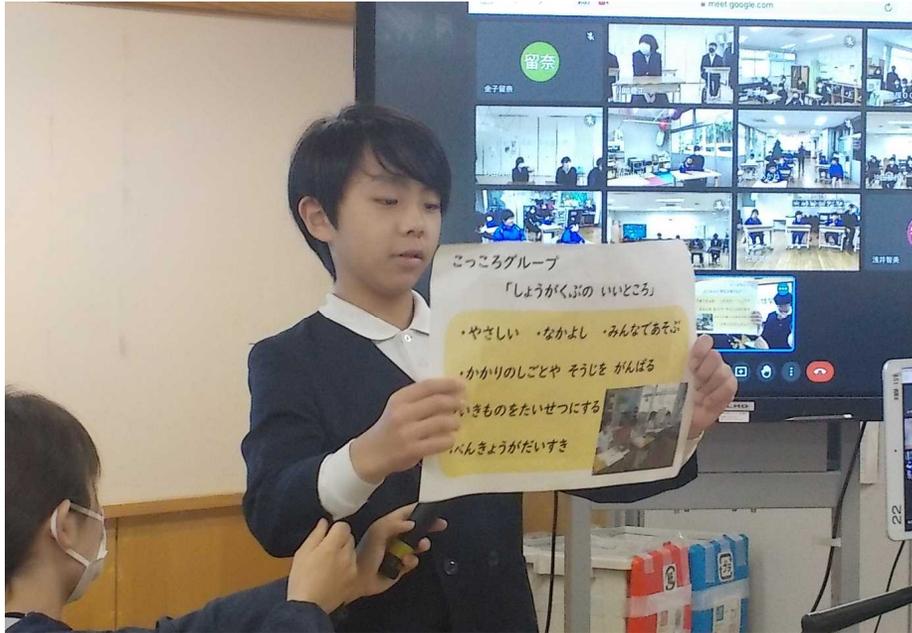
高等部の取組③



3年生の人権学習では、SNSにおける人権問題について考えました。GoogleChatを利用して、ロールプレイすることで、普段SNSに触れる機会がない生徒も体験することができました。また、言葉の捉え方には個人差があることや相手のことを思いやることの大切さに気付くことができました。

SNSはこれからもより身近なものになっていく可能性が高いので、実際の場面を想定しながら、正しい使い方を学んでいきたいと思います。

全体の取組①



12月の全校集会では、それぞれの学部代表が、道徳や人権学習で学んだことを発表しました。「誰にでも平等に接する」「頑張っている友達を応援したい」といった言葉が聞かれ、心が温まる発表でした。これからも充実した発表ができるよう、児童生徒会が中心となって取り組んでいきたいと思います。

全体の取組②



本年度はオンデマンド研修を含む、計4回の職員研修を実施しました。人権教育に関する指導の在り方や様々な人権課題についてなど、テーマを設けたことで、充実した研修が実施できました。研修の中では、自身の経験を話す職員もあり、それぞれの想いを知る機会にもなりました。子供たちの手本となる教師として、どのような態度や言動が必要か、これからも一人一人が考え、実践し、人権意識を高めていきたいと思ひます。